

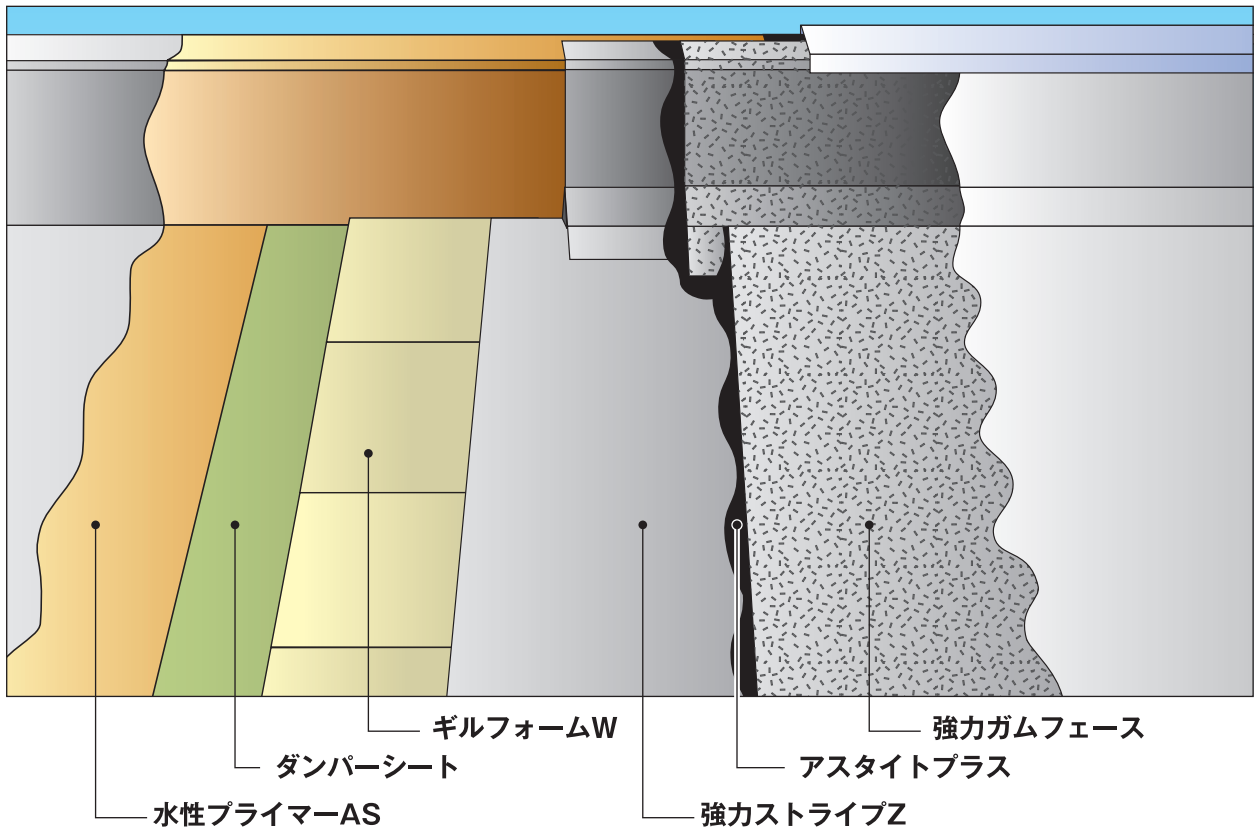


ストライプ工法

アスファルト防水冷熱併用工法

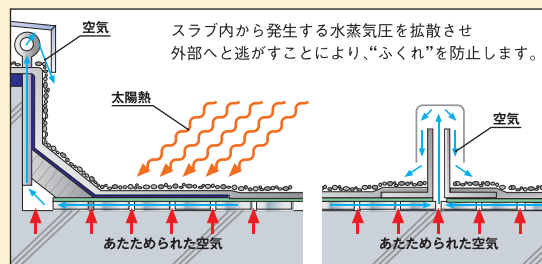
クリーン熱工法に加え、ふくれ防止機能・破断防止機能・防水機能を併せ持った改質アスファルトルーフィング「強カストライプZ」を用いることで、クリーン熱工法をさらに一步進化させました。1988年に開発・発売し、すでに20年以上の実績を持ち、アスファルト防水の中核となる工法です。

- 劣層化による防水工専用アスファルトの使用量低減とCO₂発生量の削減。
- ストライプ状自着層による安定したふくれ防止機能。
- 粘着層による軟接着が生む下地挙動追従性。

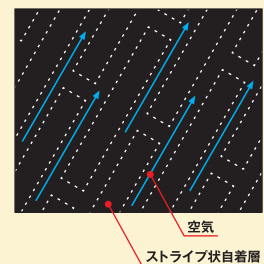


ふくれ防止システム

防水層の“ふくれ”は防水工事の際にスラブ内に閉じ込められた水分が、太陽熱によってあたためられ、徐々に気化して水蒸気になり、膨張し、逃げ場を求めてルーフィングを押し上げるために起こる現象です。



●“ふくれ”を防止する通気システム



●強カストライプZの裏面





ストライプ工法

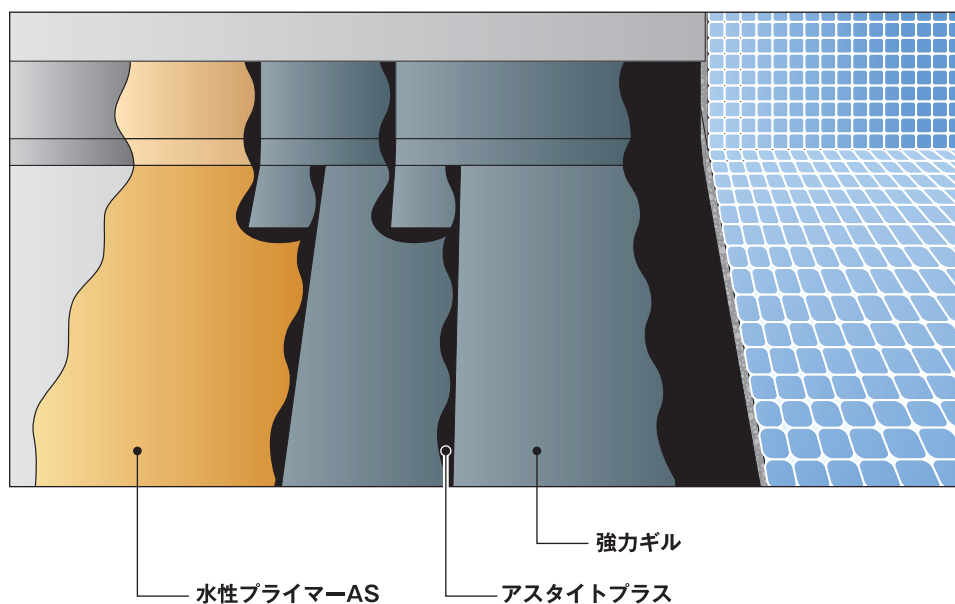
アスファルト防水冷熱併用工法



クリーン熱工法

従来の熱工法の信頼性はそのままに、さらに品質安定・環境対応を図った工法です。

- 低煙低臭型防水工事用アスファルト「アスタイトプラス」を用いた従来より低い温度で施工できます。
- 室内や駐車場のスロープなど密着工事が主に採用される部位に適しています。



アスタイトプラス

一般の工事用アスファルトと比べて、臭いと煙の発生を大幅に減らした環境対応型防水工事用アスファルトです。特長として、240℃で施行に適した粘度に達しましたので、熔融時に昇熱させる時間の短縮になります。

